

事例2 学級活動（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

「ア 基本的な生活習慣の形成」の事例

- 学年 第1学年
- 主な内容 タブレットの活用への指導
- 事例のポイント
 - ①児童の実態に即した授業展開にするために事前アンケートを活用する。
 - ②原因の追求場面と解決方法の共有場面において話し合いを重視する。
 - ③意思決定した自分のめあてを、実践への意欲化につなげられるよう工夫する。
 - ④学級活動の学習過程において効果的に資料やICT端末を活用する。

1 題材 「タブレットのじょうずなつかいかた」

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、何事にも意欲的に取り組む様子が見られる。入学後にタブレット端末を一人一人に手渡すと、多くの児童がうれしそうに目を輝かせ、「専用のタブレットがあつてうれしい。」「早く使ってみたい。」など、タブレット使用への関心の高まりがみられた。情報機器の活用に関しては、家庭環境により様々であることがアンケート結果からうかがえる。入学前からタブレットを操作している児童はごく少数であり、ほとんどの児童が初めて使う段階で、タブレットの扱い方やモラル、基本的な操作を授業の中で教える必要がある。

本題材は、学級活動（2）「ア 基本的な生活習慣の形成」に関わり、タブレットを大切に扱い、家庭や学校での約束やきまりを守りながら使うことを理解し、定着化を図ることをねらいとしている。これは、情報モラル教育との関連で年間指導計画に位置付けられた題材であり、第1学年でタブレットの使い方として、「タブレット端末を大切に扱う」、「パスワードは自分だけで使う」、「家の人と一緒に使う（約束を守る）」という3つの内容を自分自身の問題として捉えて考えさせたい。

指導に当たっては、児童が自分自身の生活を振り返るとともに、アンケート結果や映像の視聴、話し合い活動を通して、タブレットの基本的な扱い方を理解できるようにしたい。さらに、望ましいタブレットの扱いについて具体的な目標を決めることができるようにしたい。

3 第1学年及び第2学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る。 編 P201 指導計画作成の留意事項（6） ・アンケートに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識を高められるよう、事前に予告する。 ・アンケートは家庭に持ち帰り、家の方と記入する。 	◎アンケートを通して、これまでの自分のタブレットの使い方や、タブレットを通しての友達や家族との関わり方を振り返ろうとしている。 【態】（アンケート）

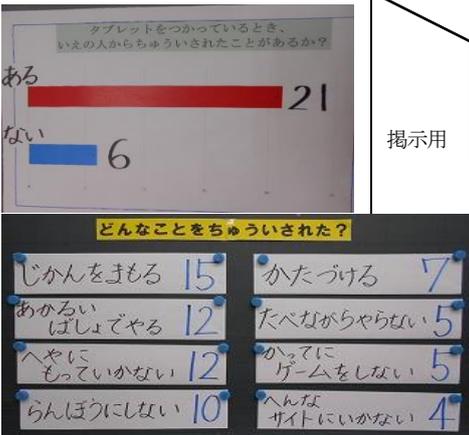
編 P201
指導計画作成の留意事項（4）

「タブレットのじょうずなつかいかた」アンケート 結果 実施人数 27人		
アンケートのこうもく	はい	いいえ
1 がっこうやいえでタブレットをつかうことは、たのしいですか。	27	0
2 じぶんのタブレットやスマートフォンをもっていますか。	2	25
3 いえのひとのタブレットやスマートフォンをつかったことがありますか。	15	12
4 3のしつもんで「はい」にこたえたひとにききます。 いえのひとのタブレットやスマートフォンでなにをしますか。 ・どろがをみる(12) ・ゲーム(10) ・しゃしんをとる(8) ・ビデオでんわ(5) ・えをかく(4) ・メッセージアプリ(1)		
5 タブレットをつかっているとき、いえのひとからちゅういされたことがありますか。	21	6
6 5のしつもんで「はい」にこたえたひとにききます。 どんなことを、いえのひとにちゅういされましたか。 ・じかんをまもること(15) ・へやにもっていかない(12) ・あかるいばしょでやること(12) ・らんぼうにしない(10) ・かたづける(7) ・たべながらやらない(5) ・かってにゲームをしない(5) ・へんなサイトにいかない(4)		

5 本時のねらい

タブレットの使い方について、自分の行動を振り返ったり、友達の考えを参考に考えたりしながら、タブレットの上手な使い方を理解し、自分のめあてを意思決定し、実践していくことができるようにする。

6 展開

段階	児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿【観点】(評価方法)
導入 15分 つかむ	<p>1 事前のアンケート結果をみて、感じたことを発表する。</p> <p>・みんな楽しんでタブレットを使っている。 ・自分の物を持っている人は少ない。 ・家では、ゲームなどをしている人がいる。 ・注意されることもたくさんある。 ・もっと上手に使っていくにはどうすればいいのだろう。</p>	<p>・全体でアンケート結果を共有できるように、必要項目をグラフ化し、本時への意識を高める。</p> 	<p>アンケート結果 モニター タブレット</p> <p>掲示用</p>	<p>事例のポイント①④ アンケート結果をモニターに映しながら進めるが、展開に深く関わり残したい資料については、黒板掲示用に用意する。</p> <p>第1学年という発達の段階を踏まえ、アンケート項目すべての結果を使用するのではなく、本時のねらいに迫るために必要な項目に絞り提示する。</p>
	<p>2 本時のめあてを知る。</p> <p>タブレットのじょうずなつかいかたをみつけ、じぶんのめあてをきめよう。</p>		<p>めあての短冊</p>	<p>児童に分かりやすく伝わるようなめあてにする。</p>
	<p>3 映像資料を視聴する。</p> <p>①タブレットを乱暴に扱い壊してしまうシーン</p>	<p>・何が問題なのか、自分も</p>	<p>資料映像 (文部科学省情報教育サイトより)</p>	

展開 20分	<p>②友達のパスワードを聞いたり、教えたりしてしまうシーン</p> <p>③母親のいうことを聞かないで、自宅で危険なサイトにアクセスするシーン</p>	<p>同じ経験があったかなどを考えながら視聴するよう促す。</p>	<p>タブレット モニター</p>	
さぐる	<p>4 視聴した映像の中で、何がよくなかったのかを考え、発表する。</p> <p>①・タブレットを机の上に投げた。 ・タブレットの上に本やプリントを置いていた。 ・タブレットを入れているバックをらんぼうにしていた。</p> <p>②・他の人のパスワードをきいていた。 ・友達のパスワードを使ってタブレットを使っていた。</p> <p>③・家の人がいないのに一人でタブレットを使っている。 ・きけんだと感じているのに、見てしまった。 ・お母さんとの約束をやぶっている。</p>	<p>事例のポイント④ 1年生でも分かりやすい流れになっている映像を視聴する。</p>	<p>3つの場面資料</p>	
見つける	<p>5 タブレットをどのように使えばよいのかを話し合い、発表する。</p> <p>編 P201 指導計画作成の留意事項 (2)</p> <p>①・タブレットの上に物を置かない。 ・ぶつけないように大切に使う。 ・自分のタブレットも友達のタブレットも同じに大切に使う。</p> <p>②・友達のパスワードは使わない。 ・忘れたら、先生や家の人に相談。 ・人にパスワードを教えない。</p> <p>③・一人で使わない。 ・家の人と一緒に使う。 ・まよったら、自分で決めない。</p>	<p>・児童の思考が混乱しないよう、場面ごとに尋ねる。</p> <p>事例のポイント② 今回おさえてたい3つの場面の原因を、児童の話合いからはつきりさせ、次の解決方法の話合いにつなげる。</p> <p>・板書も3つの場面ごとにまとめ、児童の思考の整理を促す。</p>	<p>①乱雑に扱っている</p> <p>②パスワードを聞いている</p> <p>③危険サイトを見ている</p>	
終末	<p>6 自分のめあてを意思決定し、発表する。</p> <p>事例のポイント③ めあてを発表することで、意思決定がより強いものとなり、今後の実践への意欲化へと結び付くようになる。</p>	<p>事例のポイント② 自分の生活の中で、タブレットを使う場面を思い浮かべながら話し合う。</p>	<p>家で、知らない画面を一人で見ていたら、お母さんにもものすごくしかられました。だから、家の人がいるところで使うほうがいいと思います。</p>	
終末	<p>事例のポイント③ めあてを発表することで、意思決定がより強いものとなり、今後の実践への意欲化へと結び付くようになる。</p>	<p>・児童から出された解決方法を黒板に書いておき、終末で自分のめあてを考える際に、参考にできるようにする。</p>	<p>パスワードが使われた友達はすごく嫌な気持ちだし、わたしもモヤモヤすると思います。二人とも嫌な気持ちになるから、教えたり、聞いたりしてはいけないと思います。</p>	<p>◎友達の考えも参考にしながら、タブレットの上手な使い方について、話し合っている。 【思・判・表】 (発言・観察)</p>
終末	<p>事例のポイント③ めあてを発表することで、意思決定がより強いものとなり、今後の実践への意欲化へと結び付くようになる。</p>	<p>・机間指導を行い、自分の課題が解決できるような具体的なめあてを意思決定できるよう助言する。</p>	<p>学習カード</p>	<p>◎自分の課題にあった具体的なめあてを決めている。 【思・判・表】(学習カード・観察・発言)</p>
終末	<p>事例のポイント③ めあてを発表することで、意思決定がより強いものとなり、今後の実践への意欲化へと結び付くようになる。</p>	<p>友達のタブレットの上に教科書を置いてしまったことがあるから、そうしないようなめあてを考えよう。</p>		

10分決める

- (めあての例)
- ・家で、タブレットを使う時間は30分に決めてお母さんとの約束を守る。
 - ・学校で、手提げに入れたタブレットを必ずロッカーに入れる。
 - ・なかよしの友達にも、絶対にパスワードを聞かない、教えない。
 - ・タブレットの上に物を置かず、乱暴にしないで大切にする。

2 タブレットをじょうずにつかうために、がんばること

じぶんのめあて (どこで) かうこうくらいえ
 (どんなふうに) タブレットをもちかえるとき
 (つかう) ファイルにいれてくらランドセルに入れる



児童が意思決定した内容

ぼくは、学校から家にタブレットを持ち帰るときに、必ず専用のファイルケースに入れます。そして……。

タブレットのじょうずなつかいかた

タブレットのじょうずなつかいかたをかながえ、じぶんのめあてをきめよう

つかむ ① タブレットをのけた。うえにほんをおいた。きたむいてごさわった。
 ② ともたちのパスワードをつかた。きくことは、よくない。
 ③ やくそくをまもらない。わからないボタンをおした。

さぐる ① タブレットは、やさしくおく。もちかえりは、かばんにいれる。うえになにもおかない。
 ② パスワードは、きいても、おしえていけない。じぶんだけのものにする。
 ③ こまたらおとなのひとにいう。ひとりでやらない。やくそくをまもる。わからなからたら、ボタンをおさない。

みつける ① いえでは、30ふんでやめにして、こまたらおのあさんをよぶ。
 ② つかうとき、をきれいにして、おわたら、すぐにつかうにいれる。

きめる

授業展開の一例であるが「つかむ」「さぐる」「みつける」「決める」の流れを表示する。思考の整理ができ、理解を深める板書にすることが大切である。

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎めざす児童の姿【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・決定しためあてを実践する。 ・朝の会や帰りの会で自分の取組を発表する。 ・友達の様子を聞き、今後の自分に生かせそうなものは取り入れ、継続的に実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者に対して、友達や担任から称賛や励ましの言葉を送り、今後も継続して取り組む意欲を高める。 	◎めあての達成に進んで取り組もうとしている。【態】(学習カード・観察)

タブレットの活用は学年が上がると共に、様々な問題も起きやすくなるので、家庭との連携・継続的な実践をしていくために、授業参観後の懇談会や学級通信での話題にするとよい。

めあてと実践の自己評価が入ったカード

「タブレットのじょうずなつかいかた」にここにカード

1ねん | くみ ()

1 じゅぎょうでわかったこと
 ・タブレットの上にものをおかないで、いいいにつかうことがわかりました。

2 タブレットをじょうずにつかうために、がんばること
 <じぶんのめあて (どこで) いえで
 (どんなふうに) タブレットの上
 (つかう) 本やえんぴつをまわらない

3 めあてのたっせいを、いろぬりしよう (よくできた、あま、できそこない、もうすこし、まだ)
 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21
 (各日、赤いぬりごころのマークが並んでいる)

☆じぶんのとりくみをふりかえろう
 タブレットの上にものをおかないで、いいいにつかうことができました。

☆おうちのひとから
 これからもタブレットは、たいせつにつかいます。

☆せんせいから
 つつすべて、あかくぬるることができました。めあてにむかってがんばりましたね。べんきうにつかうタブレットです。これからはうえにものをおかないで、いいいにつかうしていきますよ。

編 P201 指導計画作成の留意事項 (4)

授業内容の振り返りとして、今回の授業でわかったことを自分の言葉で書くよう指示する。

児童の実態に応じて、実践につながる具体的なめあてが意思決定できるように、めあてカードに(どこで)(どんなふう)などの視点を入れることが効果的である。

編 P201 指導計画作成の留意事項 (1)

タブレットの使用は家庭との連携が不可欠なので、家庭からのコメントをもらい、今後も両方で児童を見守っていく。

児童の自己評価については、教師が児童の取組を励ましたり、価値付けたりするコメントを入れるなどして、適切に評価する。